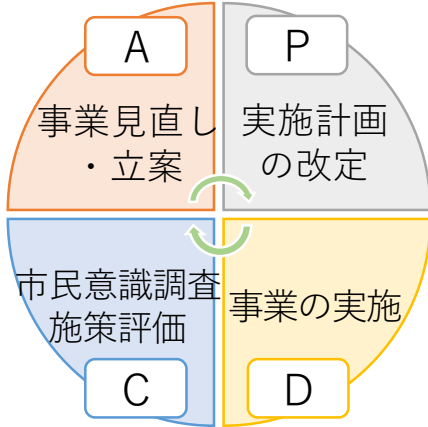


第6次総合計画前期基本計画に係る令和6年度施策評価の結果について

1 評価の目的

第6次総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けて、前期基本計画に計上した施策について、令和5年度の施策の成果や構成する事業の妥当性を点検し、毎年度の実施計画のローリングに向けた事業の見直しやスクラップアンドビルドなどの改善を行うことで、効果的・効率的な施策の展開を図ることを目的とします。

毎年度のPDCAサイクル



2 評価の対象

前期基本計画に位置付ける37の施策

基本政策	I 防災・安全分野	II 福祉・保健分野	III 子育て・教育分野	IV 産業・環境分野	V 都市基盤分野	VI 市民・行政分野
施策	01 防災	05 地域福祉	11 子育て支援	18 商工業	23 新たな土地利用	31 コミュニティ・市民協働
	02 消防・救急	06 高齢者福祉	12 幼児教育・保育	19 観光	24 都市整備	32 人権・男女共同参画
	03 防犯・消費生活	07 障がい者福祉	13 若者・青少年	20 農林業	25 道路	33 平和・多文化共生
	04 交通安全	08 健康づくり	14 学校教育	21 地球・生活環境	26 公園・緑化	34 広報・シティプロモーション
		09 地域医療	15 教育環境整備	22 循環型社会	27 河川・下水道	35 行財政運営
		10 運動・スポーツ	16 生涯学習		28 住宅	36 公共施設マネジメント
			17 歴史文化		29 景観	37 ICTの利活用
					30 公共交通	

3 評価方法

各施策が5年後の目標（「めざす姿」及び「成果指標の目標値」）に向けて順調に進捗しているかについて、施策の成果指標の実績値や重点事業、施策構成事業の進捗状況等を踏まえ、各施策を所管する部長が「施策評価シート」により評価しました。

4 評価結果

(1) 施策の進捗評価

施策の進捗状況は、以下の3つの視点から総合的に判断し、**「順調」「概ね順調」「順調でない」**の3つの段階で評価しました。

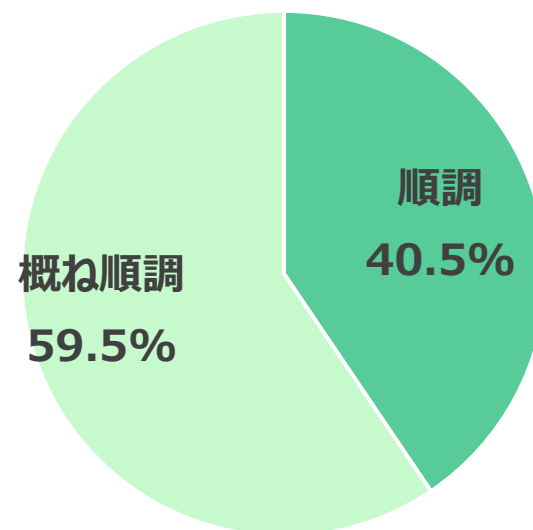
<視点>

視点①:成果指標の実績値の状況

視点②:実施計画重点事業の進捗状況(重点事業を位置付けている施策に限る)

視点③:施策構成事業や、その他施策のめざす姿に資する取組の状況

進捗状況	施策数
順調	15
概ね順調	22
順調でない	0
合計	37



4 評価結果

(2) 施策別の進捗評価一覧

施策 番号	施策名	進捗評価
基本政策Ⅰ(防災・安全 分野)		
01	防災	順調
02	消防・救急	概ね順調
03	防犯・消費生活	概ね順調
04	交通安全	順調
基本政策Ⅱ(福祉・保健 分野)		
05	地域福祉	概ね順調
06	高齢者福祉	概ね順調
07	障がい者福祉	概ね順調
08	健康づくり	順調
09	地域医療	順調
10	運動・スポーツ	概ね順調

施策 番号	施策名	進捗評価
基本政策Ⅲ(子育て・教育 分野)		
11	子育て支援	順調
12	幼児教育・保育	概ね順調
13	若者・青少年	概ね順調
14	学校教育	概ね順調
15	教育環境整備	順調
16	生涯学習	順調
17	歴史文化	概ね順調
基本政策Ⅳ(産業・環境 分野)		
18	商工業	概ね順調
19	観光	概ね順調
20	農林業	概ね順調
21	地球・生活環境	概ね順調
22	循環型社会	順調

施策 番号	施策名	進捗評価
基本政策Ⅴ(都市基盤 分野)		
23	新たな土地利用	概ね順調
24	都市整備	順調
25	道路	概ね順調
26	公園・緑化	順調
27	河川・下水道	概ね順調
28	住宅	順調
29	景観	順調
30	公共交通	概ね順調
基本政策Ⅵ(市民・行政 分野)		
31	コミュニティ・市民協働	概ね順調
32	人権・男女共同参画	順調
33	平和・多文化共生	概ね順調
34	広報・シティプロモーション	順調
35	行財政運営	概ね順調
36	公共施設マネジメント	順調
37	I C Tの利活用	概ね順調

4 評価結果

(3) 施策ごとの評価のまとめ（主なもの）

基本政策Ⅰ（防災・安全 分野）

- 施策「01_防災」では、成果指標全てが現状値と比較し上昇していることや、雨量情報配信システムのリニューアルなどの取組が計画どおり進められていることから、「順調」と評価しました。令和6年1月に発生した能登半島地震の教訓を踏まえ、市の防災対策を引き続き推進する必要があります。
- 施策「03_防犯・消費生活」では、防犯灯の新設や成果指標の市民意識調査の割合が上昇していることなどから、「概ね順調」と評価しました。引き続き、地域の防犯力向上や市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るため、防犯啓発活動に取り組むとともに、消費者教育や啓発を行います。

基本政策Ⅱ（福祉・保健 分野）

- 施策「06_高齢者福祉」では、成果指標が目標達成に向け概ね進捗していることや、ミニデイ（サロン）の開設など、介護予防を含めた様々な取組が着実に進められていることから、「概ね順調」と評価しました。高齢化の進行により、認知症高齢者の増加や老々介護、8050問題などの課題が挙げられる中、生きがいづくりや就労、地域交流活動などの社会参加を進めるとともに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう地域包括ケアの体制整備を推進します。
- 施策「08_健康づくり」では、成果指標の達成状況や事業の取組状況などを踏まえ、「順調」と評価しました。引き続き、アプリの活用やオンライン相談など、特に健康に関心の低い若い世代の取り込みも見据え、ICTを積極的に活用した健康づくりに取り組んでいきます。

4 評価結果

(3) 施策ごとの評価のまとめ（主なもの）

基本政策Ⅲ(子育て・教育 分野)

- 施策「11_子育て支援」では、小児医療費助成に係る所得制限の撤廃や助成対象年齢の拡大に向けた検討を進めるなど、各取組が計画どおりに進められていることから、「順調」と評価しました。一方で、市民意識調査の結果では、本施策は優先的課題領域(重要度が高く満足度が低い)に分類されるため、子ども家庭支援拠点の整備等により、子育て世代がより利用しやすい環境の構築や国の動向等を踏まえて施策の充実を図ります。
- 施策「13_若者・青少年」では、成果指標全てが現状値と比較して向上していることや放課後子ども教室の開設などの取組により、「概ね順調」と評価しました。一方で、市民意識調査の結果では、本施策は優先的課題領域(重要度が高く満足度が低い)に分類されるため、子ども・若者を取りまく環境が多様化・複雑化する中において、行政、民間、地域、家庭が連携を図りながら、居場所づくりを進めていきます。
- 施策「15_教育環境整備」では、成果指標に設定している「学校トイレの様式化率」が向上していることや、成瀬中学校の法面对策工事等の取組が計画どおりに進められていることから、「順調」と評価しました。物価上昇等に注視しながら、計画的かつ効率的な施設整備を進めるとともに、教育の公平性や教育水準の維持向上を図るため、学校規模と配置の適正化に向けた取組を進めます。

4 評価結果

(3) 施策ごとの評価のまとめ（主なもの）

基本政策Ⅳ(産業・環境 分野)

- 施策「18_商工業」では、本市の主要産業である製造業の生産性向上に向けた先端設備導入に係る補助制度の創設などの取組を進め、「創業支援件数」など全ての成果指標が現状値と比較して向上していることなどから、「概ね順調」と評価しました。企業誘致をめぐる都市間競争が年々激しさを増す中、他自治体の動向や企業側のニーズを注視するとともに、中小企業先端設備導入に係る補助制度の利用実績や市内関係団体のアンケート調査等により効果測定を行います。
- 施策「19_観光」では、外国人観光客を対象とした誘客プロモーション等の取組が概ね計画どおりに進められたほか、「観光消費総額」などの成果指標が現状値と比較して向上していることから、「概ね順調」と評価しました。新東名高速道路の全線開通を見据え、観光客の受入環境の整備が求められているため、新東名高速道路高架下スペースの活用検討やインバウンド向けSNSの運用、大山地域通訳案内士の活用などの取組を進めます。
- 施策「21_地球・生活環境」では、E VカーシェアリングやZ E H補助制度の開始などによる取組や、成果指標である「市域の二酸化炭素排出量の削減率」の向上などから、「概ね順調」と評価しました。令和3・2年における二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、引き続き市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組むとともに、国県等の補助制度を活用し、再生可能エネルギーや省エネルギーなどの普及促進を図ります。

4 評価結果

（３）施策ごとの評価のまとめ（主なもの）

基本政策Ⅴ（都市基盤 分野）

- 施策「24_都市整備」では、伊勢原駅北口の市街地整備や伊勢原大山インター土地区画整理事業の取組が着実に進められ、成果指標も目標値に向け向上していることから、「順調」と評価しました。伊勢原駅北口の再開発事業の事業認可及び組合設立認可に向け、事業計画の作成や関係権利者の合意形成を進めるとともに、雇用創出や地域経済の活性化に向け、新東名高速道路の全線開通を見据えた土地区画整理事業の推進を図ります。
- 施策「25_道路」では、一部工程に遅れが生じている取組がありますが、「都市計画道路田中笠窪線の整備率」などの成果指標は目標達成に向け、着実に進捗しているため、「概ね順調」と評価しました。一方で、市民意識調査の結果では、本施策は優先的課題領域（重要度が高く満足度が低い）に分類されるため、引き続き、都市計画道路田中笠窪線の計画的な整備推進や安全な歩行空間確保のための歩道整備工事、バリアフリー化工事を進め、道路の安全で安心な交通環境の向上を図ります。
- 施策「27_河川・下水道」では、成果指標に設定している「雨水矢羽根第1-1幹線の整備率」や「重要な管渠の耐震化率」などが目標達成に向けて向上していることから、「概ね順調」と評価しました。一方で、市民意識調査の結果では、本施策は優先的課題領域（重要度が高く満足度が低い）に分類されるため、引き続き、国庫補助金の確保に向けた国への要望活動を行うとともに、河川の治水対策と公共下水道の計画的な整備を推進します。

4 評価結果

(3) 施策ごとの評価のまとめ（主なもの）

基本政策VI(市民・行政 分野)

- 施策「34_広報・シティプロモーション」では、ホームページのリニューアルやInstagramの開設などの取組が計画どおりに進められ、成果指標については「市ホームページ閲覧数」がコロナの収束に伴い減少していますが、「市が運用するSNSの登録者数」は現状値と比較し、2倍以上増加するなど、その他の成果指標が順調に推移しているため、「順調」と評価しました。今後も、より多くの市民が必要な情報を確実に入手できる媒体や情報発信の方法の検討を進めるとともに、定住人口・交流人口の増加を図るため、市公式Instagramの効果的な活用や定住促進ポータルサイトの充実を進めます。
- 施策「37_ＩＣＴの利活用」では、国の「自治体DX推進計画」に位置付けられていた行政手続きのオンライン化や、市公式LINEアカウントを活用したサービスの拡充などによる取組を着実に進め、「ＩＣＴ技術活用による業務時間削減数」などの成果指標が現状値と比較して向上していることから、「概ね順調」と評価しました。限られた職員数の中、効果的・効率的に行政事務を遂行するため、継続した業務見直しとともに、ＡＩやＲＰＡなどのＩＣＴの積極的な活用を進める必要があります。また、市民と職員が安心して、ＩＣＴを利用できるよう、セキュリティ対策やデジタルデバйд対策を進めます。

5 評価結果の活用

評価結果は、実施計画の改定に向けた事業の見直しや事業立案等に活用します。